

まちづくりの将来展望について、ユーモアたっぷりに口演する矢野大和さん



地域の活力は自らの手で 地域コミュニティフォーラム

あしたの日本を創る岩手県協議会(佐々木勲会長)主催の地域コミュニティフォーラムは1日、さくらホールで開催され、基調口演と事例発表が行われました。

基調口演では、大分県文化振興県民会議委員の矢野大和さんが「将来コミュニティーが財産になる」と軽快なテンポで口演。会場は終始笑いが絶えませんでした。

パネルディスカッションでは、県の「元気なコミュニティ100選」に選定された岩崎地区自治振興協議会ほか2団体が実践事例を発表。参加者は地域の活性化につながるヒントを得ようと、耳を傾けていました。

世界の人のために使って こども赤十字一円玉募金

こども赤十字一円玉募金は1日、市立保育園9園の園児から日赤北上市地区長の伊藤市長へ手渡されました。園児代表の9人が来庁。1年間に集めた一円玉61,052円と使用済みテレホンカード218枚、使用済み切手を届けました。

横川目保育園の伊藤鈴菜ちゃん(6歳)は「みんなで集めました。病気の人や困っている人のために使ってください」とあいさつ。伊藤市長も「世界中の困っている人に差し上げて、みんなが元気になるように使います」と感謝していました。



集めた募金を伊藤市長へ手渡す伊藤鈴菜ちゃん

平和を守り伝えるために 戦中・戦後のくらし展

岩手県高等学校教職員組合などが主催する第31回戦中・戦後のくらし展は5日と6日の両日、市民交流プラザで行われました。

戦時中に発行された少年誌や新聞、教科書のほか、弁当箱やアイロンなど、当時の生活がうかがえる資料を中心に展示。砲弾の破片や破片で切り裂かれた布も展示され、会場では涙ぐむ人も見られました。

同組合は1987年から資料収集や保存を始め、写真や文献を含め約7000点を保管。県内各地で展示会を行い、北上市での開催は16年ぶり2回目でした。

台所道具やおもちや、戦時中のポスターなどが並べられた展示会場



振り込め詐欺予防を呼びかける県警音楽隊の隊員

交通事故を防止しよう 交通安全の集い2009

交通安全の集い2009は1日、さくらホールで行われました。伊藤市長は「事故のない冬となるよう、一層の声掛けと交通事故防止運動の広がりを願う」とあいさつ。北上地区の交通事故概況について、人身・負傷・死亡事故それぞれが前年度比で大きく下回ったことが、菊池昭一北上警察署長から説明されました。

また、交通安全功労者・団体、優良運転者などの表彰式のほか、県警音楽隊は演奏と交通安全・犯罪防止の啓発ステージを披露。参加者は、事故防止の気運を一層高めていました。

ぽかぽか子牛ジャケット 手作りジャケットを贈呈

農楽工楽クラブ(代表・遠藤譲一県北上総合支局長)は子牛の防寒対策にと9日、手作りのカーフジャケット35着を畜産農家へ贈呈しました。

同クラブは企業や農家などが参加し、交流、連携を通じて相互の発展を目指す活動を展開しています。ジャケットは会員企業の従業員や家族が、子どもの古着、会社のはんてんなどを利用して製作。多様なデザインのジャケットが寄せられました。畜産農家を代表して受け取った大峽清志さん(和賀町後藤)は「たくさんいただき驚いている」と感謝していました。

かわいらしいカーフジャケットを子牛に着せる大峽清志さん



啓発チラシを配る一日防犯隊長の佐藤大紀君(中央)と佐藤愛里沙さん(右)



犯罪なくし明るいまちへ 年末年始地域安全運動

12月15日から1月3日の年末年始地域安全運動に伴い15日、北上警察署、北上市防犯協会、ワンワンパトロール隊などによる特別警戒活動が行われました。同活動の一日防犯隊長として、上野中学校2年の佐藤大紀君と1年の佐藤愛里沙さんが任命され、「最後までやり遂げます」とあいさつ。八重樫章三防犯協会防犯隊長も「これを期に防犯意識を持ち、明るいまちづくりに協力してほしい」と激励していました。

市内パトロールでは一日防犯隊長も加わり、安全で事故のない年末年始となるよう呼びかけていました。



司会の山本晋也映画監督(左)と記念撮影する、黒沢尻北高校放送部員

手作りCMで北上をPR ふるさとCM大賞審査会

岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞in IWATE2009審査会」は6日、盛岡市のアイーナで開催されました。県内30市町村が参加。北上市からは、黒沢尻北高校放送部が制作した作品で参加しました。

CMでは北上の特産品をPR。アスパラガス、北上コロッケ、りんごジュースを用いて、特産品が大好きな先生と生徒のやりとりをコミカルでテンポよく仕上げ、審査員特別賞のアイデア賞を受賞しました。副賞として年間70回、ふるさとCMが県内放送される予定です。

「景観」ってなんだろう？ 小中学校で景観学習実施

小中学校向け景観まちづくり学習は11日、黒岩小学校と和賀西中学校で実施されました。

市が進める景観形成事業の一環で、講師は弘前大学教育学部副学部長の北原啓司さん。黒岩小学校では、児童が地域の気になる景観を写真に収め、発表が行われました。齋藤陽菜さん(5年)は、さびた交通標識について「交通安全の標識だけれど、さびていて怖い景観。新しくすればいいと思う」と発表。子どもならではのユニークな発表が続き、児童たちは景観を見て感じることの大切さを学んでいました。



住んでいるまちを見て考えて、言葉で表現した児童発表